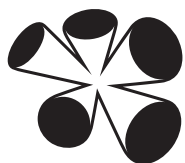


# Cintiq<sup>®</sup> 12WX

interactive pen display

ユーザースガイド



wacom<sup>®</sup>

# 特 長

---

このたびは、当社の液晶ペンタブレット Cintiq 12WX をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

Cintiq 12WX は、1280 x 800 ドットの解像度を持つ 12.1 インチカラー TFT 液晶ディスプレイに、ペンで入力できるタブレットを組み込むことにより、コンピュータの操作が、より直感的で自然なものになるように開発されました。

より軽快に、創造的に、コンピュータを活用するためにお役立てください。

# 目次

---

はじめに .....	2
特長 .....	2
目次 .....	3
安全にお使いになるためのご注意 .....	5
使用上のご注意 .....	7
お使いになる前に .....	9
1. 同梱品の確認 .....	9
2. 各部の名称 .....	10
正面 .....	10
裏面 .....	11
接続・設定 .....	12
1. Cintiq 12WX を接続する .....	12
2. ドライバのインストール .....	14
Windows の場合 .....	14
Macintosh の場合 .....	15
3. 画面調整 .....	16
Cintiq 12WX の画質について .....	16
自動調整機能 .....	16
省電力機能（パワーセーブ機能） .....	16
ボタン機能について .....	17
ディスプレイの明るさやコントラストなどを調整する .....	18
メニュー画面の使い方 .....	18
メニュー画面の種類 .....	18
使い方 .....	20
1. タブレットとして使う .....	20
スタンドを立てて使う .....	20
フラットな状態で使う .....	20
2. ディスプレイとして使う .....	21
3. 電子ペン .....	22
各部の名称とはたらき .....	22
持ちかた・置きかた .....	22
基本操作 .....	23
ラジアルメニューを使う .....	24
4. ファンクションキーを使う .....	25
ファンクションキーを使う .....	25
マッピング画面切り替え機能を使用する .....	26
トラックパッドを使う .....	29

<b>困ったときは</b> .....	<b>30</b>
1. ディスプレイのトラブル .....	30
画面が液晶パネルからはみ出したり文字がにじんだら .....	30
こんなメッセージが表示されたら.....	31
こんな症状があらわれたら.....	31
2. その他のトラブル.....	32
ペン・サイドスイッチが動かない (Windows・Macintosh 共通).....	32
一般的なトラブル.....	33
Windows でのトラブル .....	33
Macintosh でのトラブル.....	33
<b>付 録</b> .....	<b>34</b>
1. 汚れを落とす .....	34
2. ペン芯の交換 .....	34
3. ドライバマニュアルの開き方 .....	34
4. マウントアームなどに取り付ける .....	35
5. 仕 様.....	37
<b>アフターサービスのご案内</b> .....	<b>裏表紙</b>

# 安全にお使いになるためのご注意

本書では、Cintiq 12WX（以下、「Cintiq 12WX」または「本機」と呼びます）を安全に正しくお使いいただくために下記のような絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項を守ってお使いください。



## 警告

この表示を無視して誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して誤った取扱をすると、人がけがをしたり財産が損害を受ける可能性がある内容を示しています。



## 警告



禁止

### 高度な安全性や信頼性が要求される設備の制御システムには使用しない

- 他の電子装置に影響を与えたり、他の電子装置から影響を受けて誤作動することがあります。



禁止

### 電子機器の使用を禁止された場所では使用しない

- 航空機など電子機器の使用を禁止された場所や、電磁波の影響で誤動作のおそれのある機器のそばでは使用しないでください。他の電子装置に影響を与える場合があります。



分解禁止

### 分解をしない

- 本機を分解したり改造しないでください。発熱・発火・感電・けが等の原因となります。一度でも本機を分解した場合は、保証が無効となりますのでご注意ください。



電源プラグを抜く

### 落下などにより本機が故障した場合は、電源プラグをコンセントから取り外す

- 電源プラグを接続したまま放置すると、火災や感電の原因になることがあります。



ほこりを取る

### 電源プラグ・ACアダプタについて

- 電源プラグのほこりは定期的に取り除いてください。たまったほこりに湿気などが加わると、火災の原因になります。



禁止

- 付属のACアダプタ以外絶対に使用しないでください。火災や故障の原因になります。



禁止

- ACアダプタのコードを傷つけたり、無理に曲げたり束ねたりしないでください。また、重いものの下に敷いたり熱したりしないでください。火災や感電、故障の原因になります。



電源プラグを抜く

- 万一、ACアダプタから煙が出たり変な臭いがしたときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてお買い上げの販売店、またはワコムカスタマーサポートセンターに修理をご依頼ください。



水濡れ禁止

- 濡れた手でACアダプタを抜き差ししないでください。感電や故障の原因になります。



分解禁止

- ACアダプタを開けたり加工したりしないでください。火災や感電の原因になります。



## 注意



禁止

### 不安定な場所に置かない

- ぐらいついたり傾いたりした場所、また振動の激しい場所に本機を置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。



禁止

### 温度が高すぎる場所や低すぎる場所に置かない

- 暑い場所（35℃以上）や寒い場所（5℃以下）に本機を置かないでください。また、温度変化の激しい場所に置かないでください。本機や部品に悪影響を与え、故障の原因になります。

はじめに

## ⚠ 注意



### お手入れに有機溶剤を使わない

- 本機をお手入れする際に、アルコールなどの有機溶剤は絶対に使わないでください。変色・変質する恐れがあります。



水濡れ禁止

### 水に濡らさない

- 水や液体の入ったコップや花瓶を本機の近くに置かないでください。水や液体に濡れると、故障の原因となります。



電源プラグを抜く

### お手入れのときはケーブル類を取り外す

- お手入れのときは、ケーブル類をコンピュータから取り外してください。ACアダプタも抜いてください。感電の原因となることがあります。



禁止

### 重いものを置かない

- 本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。故障の原因になることがあります。



禁止

### 液晶画面を強く押さない

- 液晶画面を強く押すと、液晶の劣化や故障の原因になります。



禁止

### 動作中に金属を載せない

- 本機を使用しているときに、本機の上に金属性のものを載せないでください。誤作動や故障の原因となります。



禁止

### 漏れた液晶に触れない

- 液晶には刺激性があります。万一、液晶が漏れた場合は素手で触れないでください。触れたり目に入った場合は、ただちに15分以上流水で洗い、医師に相談してください。



禁止

### ケーブルに力を加えない

- 本機のケーブルに重いものを載せたり、踏んだりしないでください。また、付け根部分に過度の力を加えたり、曲げ伸ばしを繰り返したりしないでください。断線や故障の原因になります。



禁止

### DVIでお使いの場合は

- DVIに準拠したビデオカード以外使用しないでください。故障の原因になります。



アース線を接続する

### 電源プラグを接続するときは

- アース線端子がある場合は、ACアダプタのプラグをコンセントに差し込むときに、アース線も接続してください。



電源プラグを抜く

### 長時間お使いにならないときは

- 長時間お使いにならないときは、安全のためACアダプタのプラグをコンセントから抜いてください。



注意

### 低温やけどについて

- 本機(液晶パネルなど)に長時間、身体の一部が触れたまましていると、低温やけどを起こす場合があります。ご注意ください。



禁止

### ほこりがかからないように使う

- 故障の原因になります。



禁止

### 裏面の換気孔やコンバータボックスの換気孔をふさがない

- 本機内部が過熱し、故障の原因になります。



禁止

### スタンドを持って持ち上げない

- スタンドの可動部に指を挟まれて、怪我をする場合があります。



注意

### スタンドを閉じるときは、開閉機構に指を挟まれないようにご注意ください。



注意

### 電子ペンについて

- 付属の電子ペンで固いものを叩かないでください。故障の原因になります。
- 小さなお子様が電子ペンや替え芯などを口の中に入れていないようご注意ください。芯やサイドスイッチなどのカバーが抜けて飲み込んだり、また電子ペンが故障する恐れがあります。
- ペンに力を入れすぎると、故障の原因になります。
- ペンを保管する場合、付属のペンスタンド以外は使用しないでください。故障の原因になります。



電源プラグを抜く

### 電源が入っているときはケーブル等を抜き差ししない

- コンピュータ及び本機の電源が入っているときは、ケーブルやACアダプタを抜き差ししないでください(USBケーブル除く)。本機やコンピュータが故障する恐れがあります。

# 使用上のご注意

## 液晶表示部に関するご注意

液晶表示部はペンであまり強く押さないようにしてください。ペンで強く押すと、波紋状の縞模様が現れることがあります。離すと戻ります。以下のような現象は液晶ディスプレイの特性であり、故障ではありませんのでご了承ください。

- 表示内容によっては、明るさにムラが生じることがあります。
- 表示内容によっては、ごく一部に点灯したまま、または点灯しないままの緑や赤、青のドットが見られることがあります。
- 細かい模様が表示されると、ちらつきや縞模様を生じることがあります。
- 静止画を長時間表示したあと残像が生じることがありますが、時間がたつと徐々にもとに戻ります。
- 使用時間の経過にともなうバックライトの光の変化により、表示状態が徐々に変化します。
- 画面を見る角度によっては、色合いが多少変わります。

## 本機とコンピュータの接続に関するご注意

- 本機が対応していないグラフィックカードを使用すると、本機が故障する恐れがあります。必ずアナログ RGB または DVI 準拠のグラフィックカードをお使いください。
- DVI/RGB 切替スイッチを正しく設定してください。

## その他に関するご注意

他のタブレットなどの機器を本機の近くに置くと、その機器が影響を受けて誤動作することがあります。このような場合は、本機からなるべく離してお使いください。

## 目の健康のため、以下のことにご注意ください。

- 本機をお使いになるときは、必ず部屋を明るくし、本機の画面から十分に顔を離してお使いください。
- 長時間本機をお使いになるときは、適度に休憩をお取りください。

## 免責事項について

- 火災や地震、第三者による事故、お客様の故意または過失、誤用その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本製品の使用や使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、データの変化や消失など）に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 本書で説明している以外の使い方によって生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 他の接続機器、または当社製以外のソフトウェアとの組み合わせによる誤作動から生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

## 製品の保証についてお願い

保証規定をよくお読みになり、お買い上げから一年間は保証書を保管してください。保証書に販売店による記入がない場合は、直ちに販売店にお申し出になるか、ご購入時の領収証（またはその写し）を保証書に添付して保管してください。保証書に、販売店による記入も領収証の添付もない場合は、保証書が無効になります。

## 電波障害自主規制等について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信器に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。  
VCCI-B

## 商標について

- Wacom、Cintiq は株式会社ワコムの登録商標です。
- Windows は米国マイクロソフト社の米国及びその他の国における登録商標です。
- Macintosh は米国アップルコンピュータ社の登録商標です。
- その他の製品名などは、一般的に各社の商標または登録商標です。

## ご注意

- ① 付属のタブレットドライバの著作権は、株式会社ワコムにあります。
- ② タブレットドライバ及び本書の内容の一部または全部を、無断で複製、転載することは禁止されています。
- ③ タブレットドライバ及び本機の仕様、及び本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- ④ 資源、有効利用促進法の施行により、ワコムではワコム製の使用済み液晶ペンタブレットの回収・リサイクル活動を行っています。タブレットリサイクルのお問い合わせについては、以下のインターネットアドレスをご参照ください。

<http://www.wacom.co.jp/recycle/>

## 本製品の仕向地について

本製品は日本国内向けに構成されています。

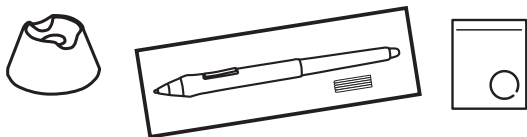
## 本書について

本書では、本機の接続方法、インストール方法、機能、及び使い方について説明しています。本機は、お使いのコンピュータに対して、液晶ディスプレイとタブレットという 2 つの独立した機器の役割を果たします。まず、本機を表示装置として接続し、次にタブレットドライバをコンピュータにインストールしてください。表示一体型タブレットとしてお使いいただけます。本機で画面を表示するには、アナログ RGB または DVI 対応のビデオ出力が必須です。ビデオカードの使い方については、ビデオカードに付属の説明書をお読みください。



# 1. 同梱品の確認

- 電子ペン（替え芯付き）、ペンスタンド、芯抜き

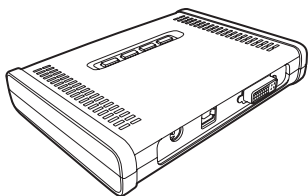


- マニュアル
  - ・ ユーザーズガイド（本書） / 保証書

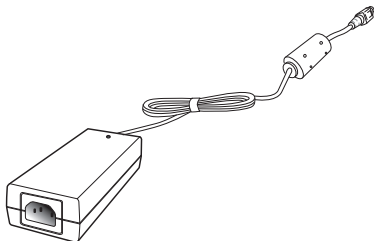
- Cintiq 12WX 専用 CD-ROM
  - ・ タブレットドライバ CD-ROM



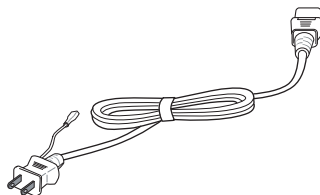
- コンバータボックス



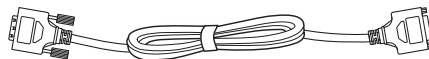
- AC アダプタ



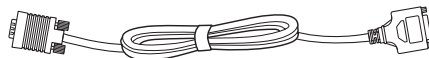
- 電源ケーブル



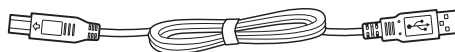
- 接続ケーブル
  - ・ DVI-I-DVI-D ケーブル



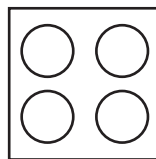
- ・ DVI-I アナログ RGB ケーブル



- USB ケーブル



- ラバーフット



## お知らせ

● 本機の保存や輸送のため、箱は捨てずに保管してください。

お使いになる前に

## 2. 各部の名称

### 正面

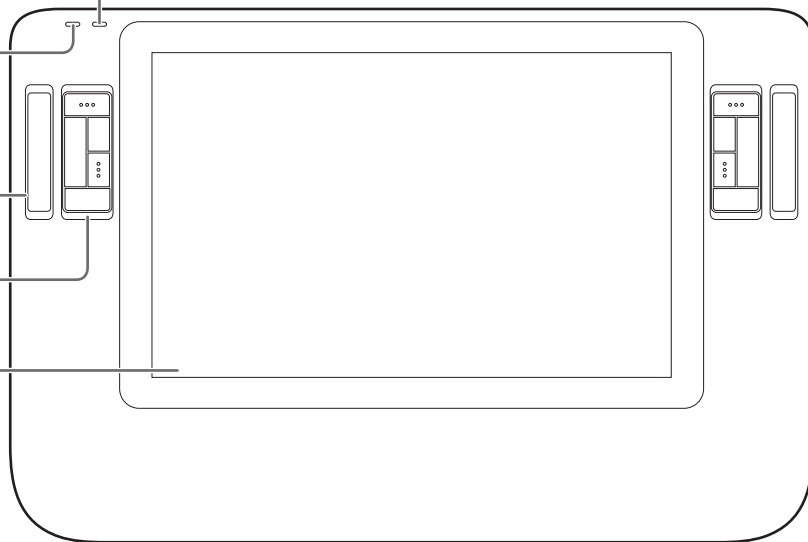
**ステータスランプ**  
ペンのスイッチがオンの場合、青色に点灯します。

**パワーランプ**  
電源をオンにすると、オレンジ色に点灯し、しばらくすると青色になります。

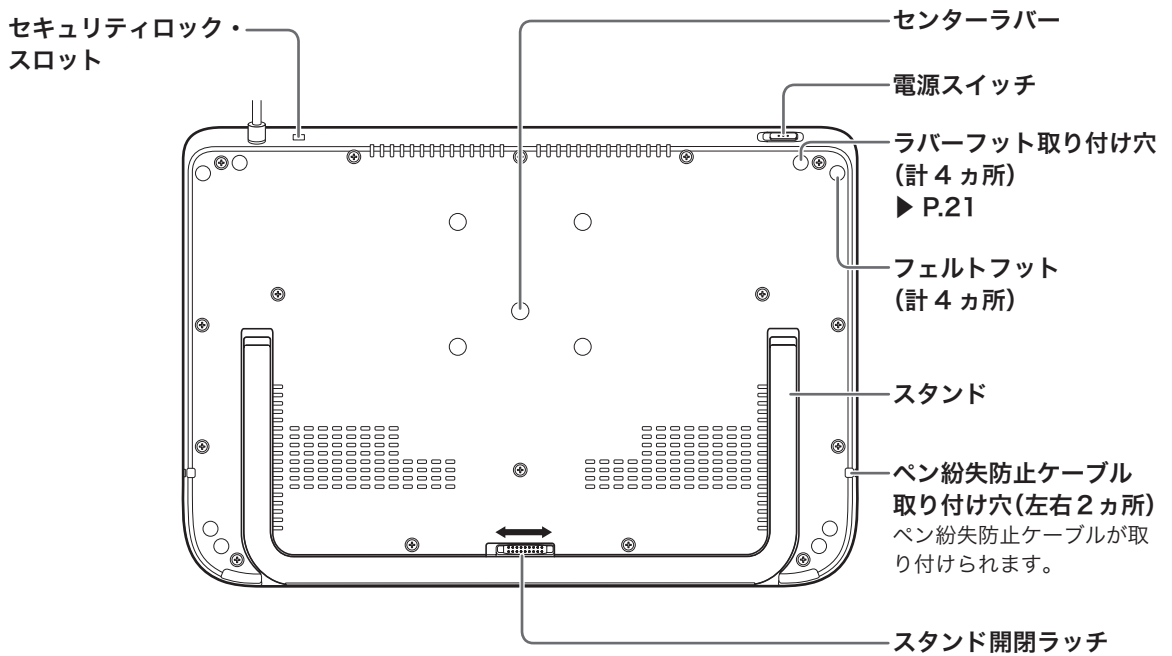
**トラックパッド**  
▶ P.29

**ファンクションキー**  
▶ P.25

**タブレット操作面および  
液晶表示部**



## 裏面



# 1. Cintiq 12WX を接続する

Cintiq 12WX とコンバータボックス、コンバータボックスとお使いのコンピュータを信号ケーブルで接続します。付属の接続ケーブルの信号入力コネクタは、デジタル信号 (DVI-D) とアナログ信号 (ミニ D-SUB15 ピン) に対応しています。ご使用のコンピュータの出力端子の形状をお確かめになり、コンピュータに接続してください。

## お知らせ

●信号ケーブルを接続する前に、必ず本機、コンピュータの電源を切ってください。

- 1 本機およびコンピュータの電源をオフにします。
- 2 コンバータボックスの MDR コネクタへ本機の MDR ケーブルを接続します。
- 3 コンバータボックスの DVI-I コネクタをコンピュータのディスプレイコネクタに接続します。

お使いのコンピュータにより DVI-I-DVI-D ケーブル、または DVI-I アナログ RGB ケーブルのどちらかを使用します。

- 4 DVI/RGB 切替スイッチを設定します。

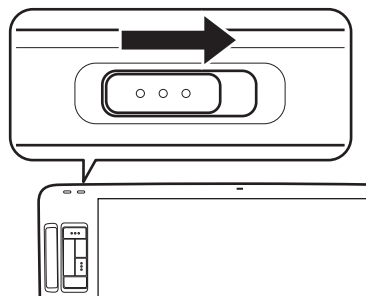
DVI-I-DVI-D ケーブルで接続した場合は「DVI」、DVI-I アナログ RGB ケーブルで接続した場合は「RGB」にスイッチを切り替えます。

- 5 電源ケーブルを接続します。

AC アダプタと電源ケーブルを接続し、電源コネクタをコンバータボックスの DC 電源入力端子に接続します。次に、電源プラグを 100V コンセントに接続します。必ずアース線を接続してください。

- 6 本機の電源スイッチをオンにします。

パワーランプがオレンジ→青の順に点灯します。



- 7 コンピュータの電源をオンにします。

- 8 画像の解像度と色数を設定します。

Windows 7、Vista : 「スタート」メニュー → 「コントロールパネル」 → 「画面の解像度の調整」をクリックするか、または画面上で右クリックして「個人設定」 → 「画面の解像度」または「画面の設定」をクリックする。

Windows XP : 「スタート」メニュー → 「コントロールパネル」 → 「画面」 → 「設定」タブをクリックするか、または画面上で右クリックして「プロパティ」 → 「設定」タブをクリックします。すると画面の設定が表示されます。解像度を 1280 × 800 ピクセルに設定してください。

\*1280 × 800 ピクセルで表示するにはコンピュータ/グラフィックスボードがこの解像度をサポートしている必要があります。

## お知らせ

●リフレッシュレートは、60Hz に設定してください。本機のリフレッシュレートを超える値を設定すると、画面が表示されません。通常は 60Hz に合わせることをお勧めします。

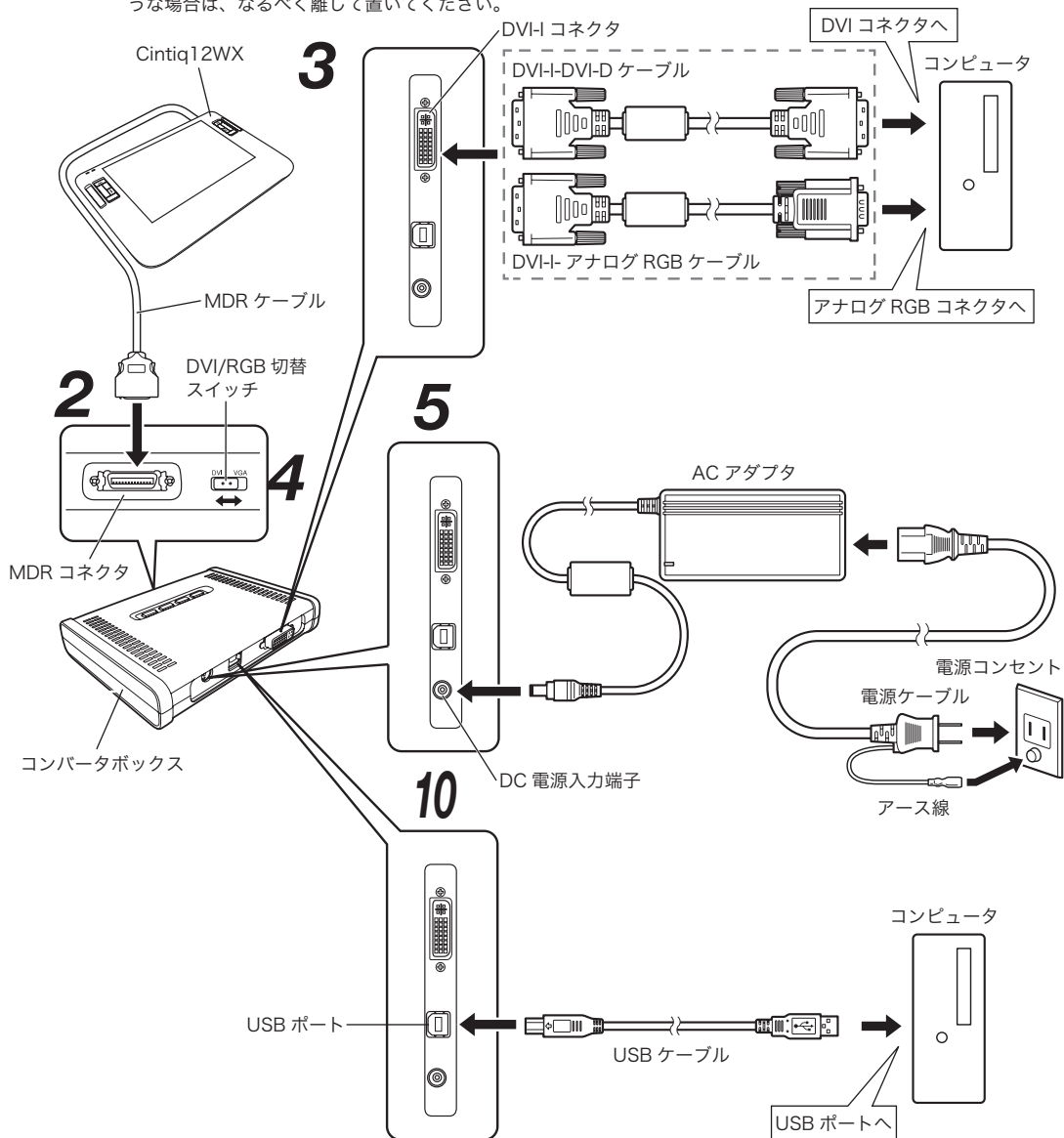
**9** コンバータボックスにある「ENTER」ボタンを押し、画面の自動調整をします。

**10** USBケーブルを接続します。

コンバータボックスのUSBポートとコンピュータのUSBポートをUSBケーブルで接続します。

注意：

他のタブレットなどの機器を本機のすぐ側に置くと、その影響を受けて本機が誤動作する場合があります。このような場合は、なるべく離して置いてください。



## 2. ドライバのインストール

### Windows の場合

インストールの前に本機の電源をオンにして USB ケーブルをコンピュータに接続してください。

#### 1 タブレットドライバ CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。

インストールメニューが表示されます。

(表示されない場合は、CD-ROM 中の「Install.exe」をダブルクリックしてください)。

注意:

- ・「自動再生」が表示される場合があります。「プログラムのインストール / 実行」をクリックしてください。
- ・「ユーザーアカウント制御」が表示される場合があります。「続行」または「許可」をクリックしてください。

#### 2 インストールメニューが表示されます。

「タブレットのインストール」をクリックすると、使用許諾契約が表示されます。

#### 3 内容に同意する場合は、「同意する」をクリックします。

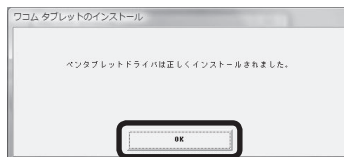
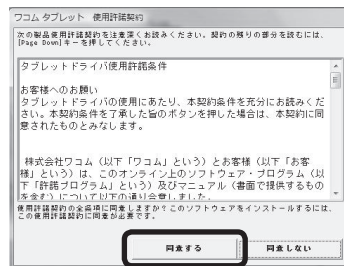
#### 4 インストールが完了したら、「OK」をクリックします。

ヒント:

タブレットドライバが正常にインストールされない場合、ウイルス監視プログラムを一時的に OFF にして、再度、インストールを行ってください。インストールが完了しましたら、必ずウイルス監視プログラムを ON にしてください。

注意:

- ・ タブレットドライバ CD-ROM 中の ICC プロファイルはメニュー画面 (P.18 ~ 19 参照) でのコントラスト、輝度、色温度の設定が初期設定のままで使用されることを想定して作成されています。コントラスト、輝度、色温度の設定を変更すると、ICC プロファイルは使用に適さなくなります。



### タブレットドライバのアンインストール

#### 1 Windows の「スタート」ボタンからコントロールパネルを開き、「プログラムと機能」または「プログラムのアンインストール」を選択します。または、「プログラム (アプリケーション) の追加と削除」をダブルクリックします。

#### 2 リストの中から「ワコムタブレット」を選択し、「アンインストール」または「変更と削除」ボタンをクリックします。

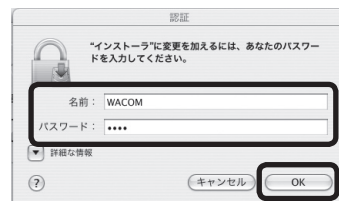
ダイアログの指示に従い、アンインストールを行ってください。

Windows を再起動すると、ドライバが削除されます。

## Macintosh の場合

インストールの前に本機の USB ケーブルとコンピュータが接続されていることを確認し、本機の電源をオンにしてください。

- 1 開いているアプリケーションを閉じてください。
- 2 タブレットドライバ CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブにセットします。  
インストールメニュー画面が表示されます。  
(表示されない場合は、CD-ROM を開き「インストール」または「Install.app」をダブルクリックしてください)。
- 3 「WACOM タブレットのインストール」をクリックします。  
インストールが始まります。以降、画面の説明に従ってインストールを進めてください。  
操作中に認証ダイアログが表示されたら、パスワード\*を入力してください。  
\*パスワードとは Macintosh のログインパスワードです。
- 4 インストールが完了したら、Macintosh を再起動してください。



### お知らせ

- Macintosh (OS X 10.2 以降) には、標準で Inkwell 機能が組み込まれています。この機能をオンにしていると、タブレットドライバのインストール終了後に Inkwell の黄色のメモ用紙が表示されることがあります。この機能を解除するには、「コントロールパネル」→「Ink」→「Settings」の「Allow me to write anywhere」のチェックをはずします。

### ヒント:

タブレットドライバが正常にインストールされない場合、ウイルス監視プログラムを一時的に OFF にして、再度、インストールを行ってください。インストールが完了しましたら、必ずウイルス監視プログラムを ON にしてください。

## タブレットドライバのアンインストール

- 1 アプリケーションフォルダの中の「タブレット」フォルダを開きます。
- 2 「ワコムタブレットの削除」を起動し、指示に従ってアンインストールを行ってください。

### 3. 画面調整

#### Cintiq 12WX の画質について

##### 自動調整機能

本機のディスプレイは、最適な画質で表示されるように自動調整機能を搭載しています。自動調整機能は、お使いのコンピュータの仕様によっては自動的に働かないことがあります。その場合には画面が適切に表示されないことがありますので、自動調整の実行方法については、P.18～19を参照し、メニュー画面から自動調整（▶ P.18～19）を実行してください。

##### お知らせ

- 自動調整とは、初期設定にない表示モードのうち、水平周波数：31～82kHz、垂直周波数：56～75Hzの信号を初めて受信したときに、水平位置、垂直位置、トラッキング、周波数が自動設定され、最適な画像が表示されます（自動調整の動作中は、画面表示までに通常より時間がかかることがあります）。自動調整は最初の一度のみで、次回から同じ設定値が自動的に選択されます。

##### 省電力機能（パワーセーブ機能）

本機は、VESAに対応しています。本機をDPMS（Display Power Management Signaling）に対応しているコンピュータやグラフィックボードに接続すると、操作していないときは自動的に以下のような省電力状態になります。省電力機能が働いているとき、画面の表示は、通常より薄暗くなります。

本機の消費電力機能は、以下のようになります。

コンピュータの動作状態	水平同期信号	垂直同期信号	画像信号	消費電力	電源表示ランプ
電源 ON	あり	あり	あり	29W 以下	青色
スタンバイモード	なし	あり	なし	2W 以下	オレンジ色 / 青色*
サスペンスモード	あり	なし	なし	2W 以下	オレンジ色 / 青色*
OFF モード	なし	なし	なし	1W 以下	オレンジ色

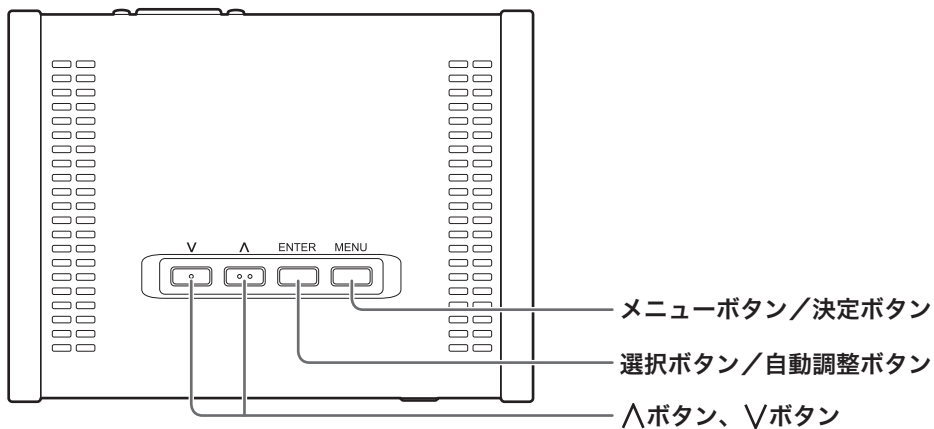
##### 注意

※ お使いのコンピュータやビデオカードの仕様や設定によっては、スタンバイモードやサスペンスモードでもオレンジ色のみ点灯する場合があります。



## ボタン機能について

コンバータボックス上面にあるボタン機能を使って、ディスプレイの輝度、コントラスト、映像、色温度などの調整を行うことができます。



メニュー画面で使用する各ボタンには、次の機能が割り当てられています。

ボタン名	働き
メニューボタン	メインメニューを表示させたり、閉じたりします。
決定ボタン	設定内容を決定します。
選択ボタン	設定したい項目を選択します。
自動調整ボタン	画面の自動調整機能が働きます。
∧ボタン、∨ボタン	メニューを移動させたり、数値を設定します。

## ディスプレイの明るさやコントラストなどを調整する

メニューボタンを押すと、メインメニューが表示されます。調整する項目や設定したい内容を選んで、調整をおこなってください。

### メニュー画面の使い方

- 1 「メニュー」ボタンを押して、メインメニューを表示させます。△ボタンや▽ボタンでメニューを移動させて、「選択」ボタンを押して、調整する項目を選択します。

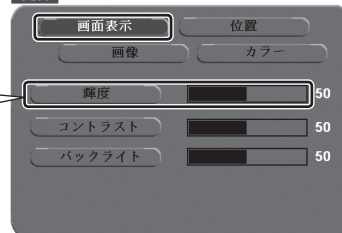
△ボタンで右方向へ選択できます。  
▽ボタンで左方向へ選択できます。

例：「画面表示」の「輝度」を調整します。



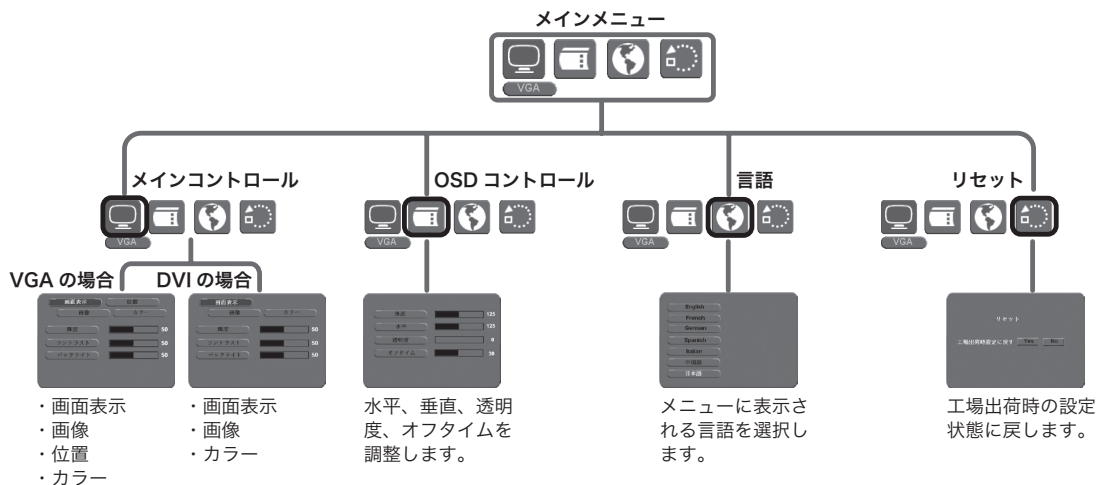
- 2 △ボタンや▽ボタンで、数値の調整などを行います。「決定」ボタンで数値を確定します。調整後、「決定」ボタンを何回か押してメインメニューに戻ります。

△ボタンで数値が増加します。  
▽ボタンで数値が減少します。



- 3 「メニュー」ボタンを押して、メインメニューを閉じます。または、しばらくすると自動的に消えます。

### メニュー画面の種類



## ●メインコントロール

### 画面表示

メニュー画面	説明
輝度	画像の輝度を調整します。
コントラスト	画像のコントラストを調整します。
バックライト	数値を調整して、バックライトの明るさを設定します。同時に消費電力も調整できます。

### 画像

メニュー画面	説明
スケーリング	表示中の画像サイズを調整します。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ 1 : 1 : 入力された画像をそのまま表示します。</li><li>・ 全画面 : 画像を画面全体に拡大します。</li><li>・ 縦横比 : 画像の縦と横の比率を維持して表示します。</li></ul>
自動調整 (VGA)	画像を最適に表示します。
トラッキング (VGA)	画面の信号タイミングをグラフィックカードに合わせます。画面がちらついて、不安定な場合、この機能を使って調整をおこないます。
周波数 (VGA)	画面のデータ周波数を変更して、グラフィックカードの周波数に合わせます。画面がちらついて、不安定な場合、この機能を使って調整をおこないます。

### 位置 (VGA のみ)

メニュー画面	説明
水平	画面の水平位置を調整します。
垂直	画面の垂直位置を調整します。

### カラー

メニュー画面	説明
色温度	色温度を設定することができます。6500K、9300K、ダイレクト、カスタムの 4 種類から選択できます。 <ul style="list-style-type: none"><li>・ ダイレクト : グラフィックカードから直接、色が表示されます。</li><li>・ カスタム : 赤、緑、青の表示色をそれぞれ調整できるようになります。</li></ul>

## ● OSD コントロール

メニュー画面	説明
水平	メニュー画面の位置を横に移動させます。
垂直	メニュー画面の位置を縦に移動させます。
オフタイム	メニュー画面の表示時間を変更します。
透明度	メニュー画面の背景の色を透明にします。

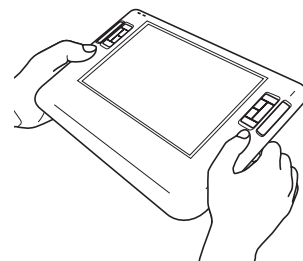
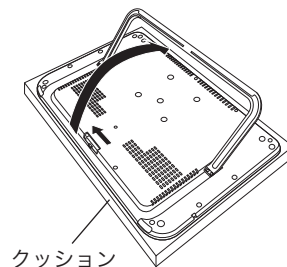
# 1. タブレットとして使う

## スタンドを立てて使う

- 1** 本機を裏返します。  
本機に傷がつかないように、下にクッションなどを置いてください。
- 2** スタンド開閉ラッチを左側にスライドさせ、スタンドを上に出します。  
スタンドが止まるまで上げてください。
- 3** 本機を両手で持ち上げて、裏返します。

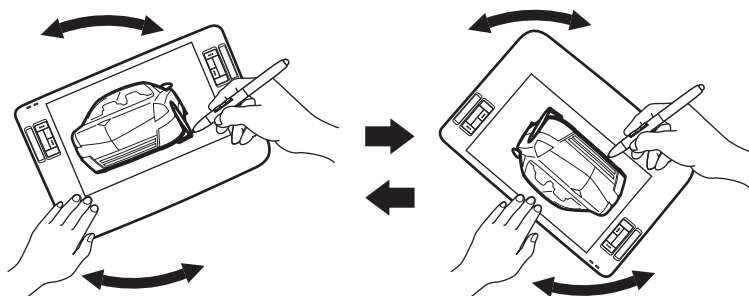
注意：

スタンドの開閉時に指を挟まないようにご注意ください。

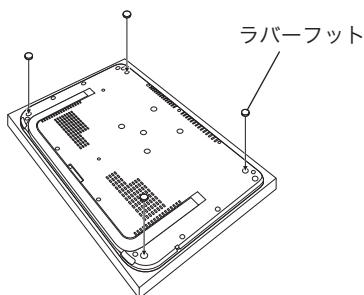


## フラットな状態で使う

スタンドを使わずにタブレットをフラットな状態で、お使いいただくこともできます。  
裏面中央のセンターラバーを中心にしてタブレットを回転させることができます。



本機をフラットな状態で固定することもできます。付属のラバーフットのシールをはがし、タブレット裏面の穴に貼り付けます。



**!** 注意

ラバーフットは、付けたり外したりすることはできません。

## 2. ディスプレイとして使う

### 1 本機を裏返します。

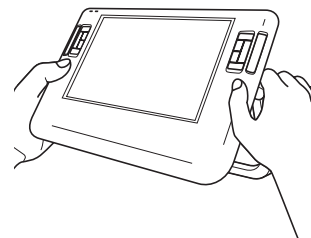
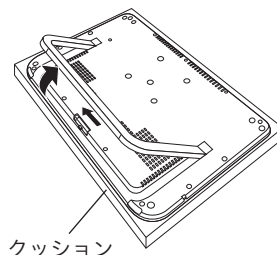
本機に傷がつかないように、下にクッションなどをしいてください。

### 2 スタンド開閉ラッチを左側にスライドさせ、スタンドを上を上げます。

任意の位置まで、上げてください。

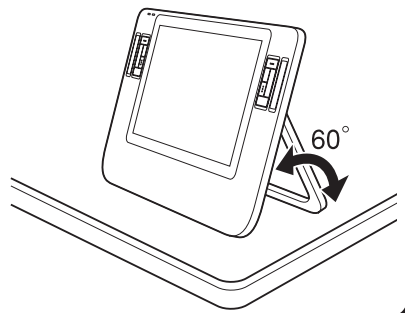
### 3 本機を両手で持ち上げて、裏返します。

### 4 本機と机の角度が約 60°になるよう調整してください。



**!** 注意

- ペンで力を加えるとタブレットが倒れる恐れがありますので、ペンを使用する場合は、フラットな状態またはスタンドをもっとも開いた状態にしてください。
- 本機をディスプレイとしてお使いになる場合、本機と机の角度が水平から 60°以上にすると、本機が転倒することがあります。



### 3. 電子ペン

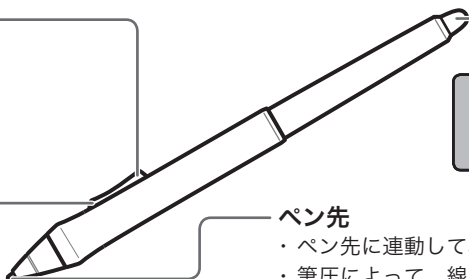
#### 各部の名称とはたらき

##### セカンドサイドスイッチ

設定された機能をワンタッチで使うことができます。

##### サイドスイッチ

設定された機能をワンタッチで使うことができます。



##### テールスイッチ

消しゴムのように使用します。

##### お知らせ

- 消しゴム対応のアプリケーションでのみお使いになれます。

##### ペン先

- ・ ペン先に連動して、ポインタの位置が移動します。
- ・ 筆圧によって、線の太さや点の大きさを調整できます。
- ・ 摩耗した場合は交換ができます。「ペン芯の交換」(▶ P.34)をご覧ください。

#### 電子ペンのお買い上げ時の設定

注意：設定方法については、Cintiqドライバマニュアル 12 ページをご覧ください。Cintiqドライバマニュアルの開きかたについては、34 ページをご覧ください。

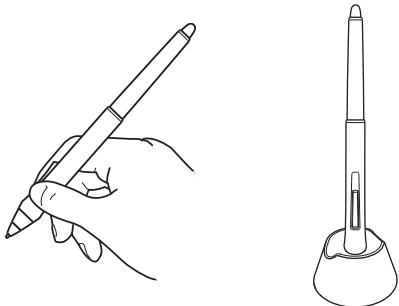
	Windows	Macintosh
サイドスイッチ	右ボタンのクリック	右ボタンのクリック
セカンドサイドスイッチ	ダブルクリック	ダブルクリック

##### お知らせ

- サイドスイッチ、セカンドサイドスイッチの設定については、ドライバマニュアルをご覧ください。
- 本機では、Intuos3 に付属する電子ペンを使うことができます。

#### 持ちかた・置きかた

通常の鉛筆やペンと同じように持ちます。電子ペンを使わないとき、ペンスタンドに立てておきます。



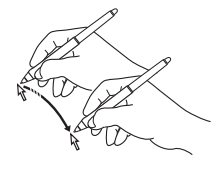
##### お知らせ

- 誤ってスイッチを押さないようご注意ください。

## 基本操作

### ポインタの移動

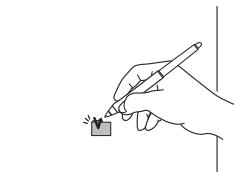
画面から少し浮かせながらペンを動かすと、画面のポインタが移動します。



### クリック、ダブルクリック

#### クリック

ペン先で画面を軽く1度たたきます。

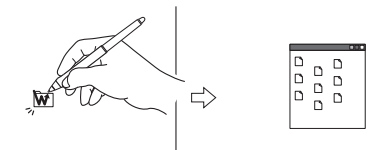


#### ダブルクリック

ペン先で同じ場所を連続で2度たたきます。

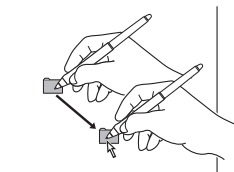
#### お知らせ

- 標準設定でセカンドサイドスイッチにダブルクリックが設定されています。



### ドラッグ

アイコンやフォルダを選択し、ペン先を押し付けたまま電子ペンを動かします。

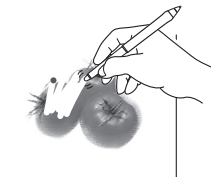


### 消しゴムを使う

消しゴム機能を設定してディスプレイ上でなぞると、絵や手書き文字が消しゴムで消したように消えます。

#### お知らせ

- 消しゴム対応のアプリケーションでお使いになれます。

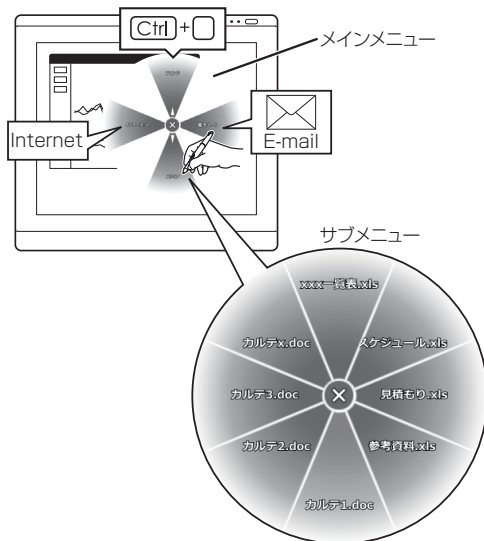


## ラジアルメニューを使う

### ラジアルメニューとは

ユーザが任意に作成し、画面上のお好きな位置に表示できる円形のメニューです。

- コマンドやショートカットが、キーボードを使わず電子ペンから使えます。
- サイドスイッチのワンクリックでポインタの位置に呼び出せるので、通常のメニューよりも便利に使えます。

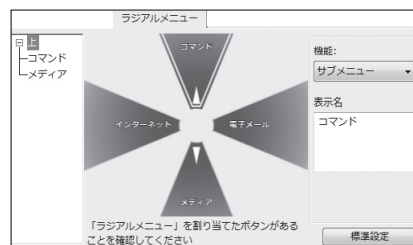


- 自由なカスタマイズができます。頻繁に使うコマンドやアプリケーションソフト、ファイル等をメニュー項目に登録し、直接起動することができます。

### 設定のしかた

#### 1 ペンタブレットのコントロールパネルを開き、ラジアルメニューにメニュー項目を登録します。

- ・ メインメニューおよびサブメニューには 8 項目まで機能を登録することができます。
- ・ コントロールパネルの開きかたはドライバマニュアル 4 ページをご覧ください。
- ・ 詳しい登録のしかたについては、ドライバマニュアルをご覧ください (ドライバマニュアルの開き方▶ 34 ページの「ドライバマニュアル」の開きかた参照)。



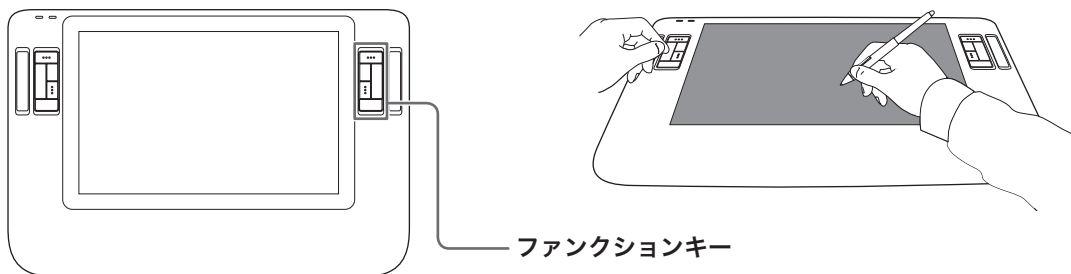
#### 2 電子ペンのサイドスイッチに「ラジアルメニュー」を設定します。

- ・ 設定のしかたはドライバマニュアル 12 ページをご覧ください (ドライバマニュアルの開き方▶ 34 ページの「ドライバマニュアル」の開きかた参照)。



## 4. ファンクションキーを使う

ペンを使いながら、もう片方の手でファンクションキーを操作してショートカット機能を使うことができます。



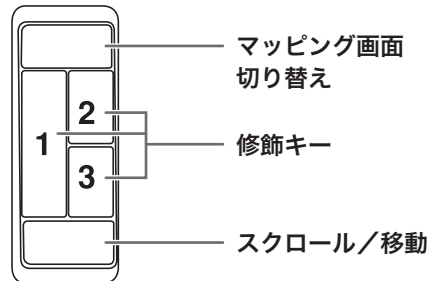
### ファンクションキーを使う

ファンクションキーには、お買い上げ時の設定で次の機能が割り当てられています。ファンクションキーの設定はカスタマイズすることができます。設定の詳細は、ドライバマニュアル 20 ページをご覧ください。ドライバマニュアルの開き方については、34 ページをご覧ください。

- **マッピング画面切り替え：**  
マルチモニタ環境で使用しているとき、本機と他のディスプレイの間でポインタを切り替えることができます。この設定をしたファンクションキーを押すと、他のディスプレイをペンで操作できるようになります。もう一度押すと元に戻ります。
- **修飾キー：**  
お買い上げ時の設定では、以下の修飾キーが割り当てられています。

	1	2	3
Windows	[Ctrl] キー	[Shift] キー	[Alt] キー
Macintosh	[ ⌘ ] キー	[shift] キー	[option] キー

#### お買い上げ時の設定



- **スクロール/移動：**  
ハンドツールが使えるアプリケーションでは、ハンドツールで、開いているファイルや画像をウィンドウの中で自由に移動させることができます。ハンドツールが使えないアプリケーションでは、上下左右の画面のスクロールになります。アプリケーションのなかには、スクロールが縦方向にしか働かないものがあります。

## マッピング画面切り替え機能を使用する

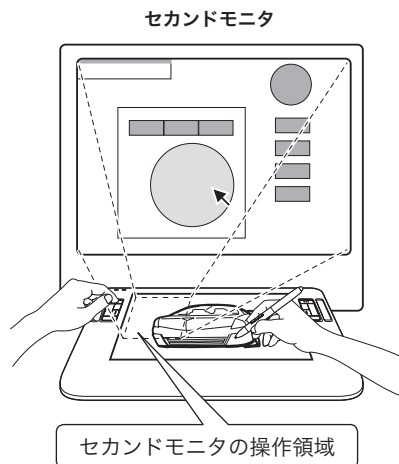
### 概要

本機をマルチモニタ環境で使用する場合、ボタン1つでポインタをCintiqからセカンドモニタへとスムーズに切替えられます。マウスなどに持ち替える必要はありません。

マッピング画面の切替については、次の2つの方法があります。

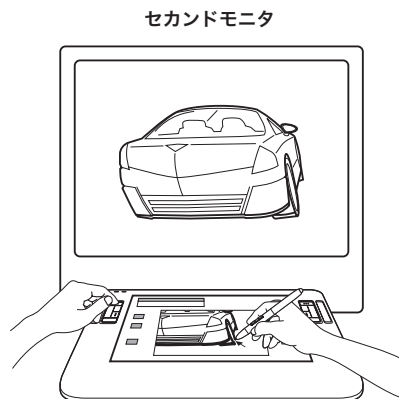
#### ■デスクトップ全体に切替える

Cintiq 画面上にバーチャルディスプレイ全体を割り当てます。これにより、Cintiq 画面上で、セカンドモニタの画面にもアクセスすることができます。Cintiq 画面に作成領域、セカンドモニタ側にメニューなどを置いて使いたい場合に便利です。



#### ■他のモニタに切替える (▶ P.28)

Cintiq とセカンドモニタの間で操作領域を切り替えます。ボタンを押すごとに、Cintiq →セカンドモニタ→Cintiq…と操作領域が切り替わります。使い方については 27 ページをご覧ください。



## 「マッピング画面切り替え」機能の設定

コントロールパネルを開いて「マッピング画面切り替え」タブで、タブレットのマッピングを切り替える方法を設定します。

詳細は、「ドライバマニュアル」の26ページ（ドライバマニュアルの開き方▶34ページの「ドライバマニュアル」の開きかた参照）をご覧ください。



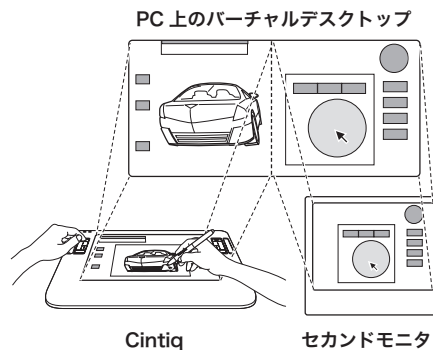
## マルチモニタ環境で使う

本機の画面を描画用画面とし、セカンドモニタには、操作メニューや他のアプリケーションの画面を置くと便利です。

ペンまたはパソコンのマウスを使って、セカンドモニタに表示画面を移動します。

- ・操作パレットや描画画面などの移動  
移動したい操作パレットや描画画面などのタイトルバーを選択して画面間をドラッグして移動します。移動した後、使いやすいように、ウィンドウのサイズを変更します。

2つのモニタを使用することで、画面が広く使えるだけでなく、片方の画面にソフトウェア本体を置き、もう片方の画面にツールパレットやアイコンバーを置くなど、工夫次第で作業を効率よく進めることができます。

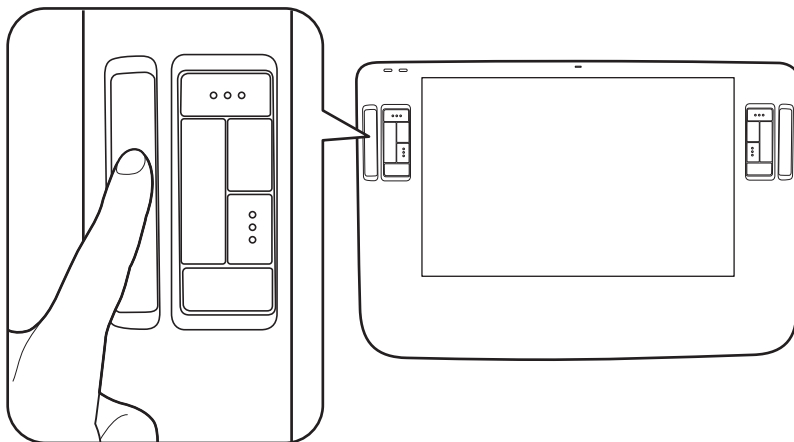




## トラックパッドを使う

トラックパッドの上で指を滑らせて使います。お買い上げ時の設定で、グラフィックアプリケーションではズーム機能が働き、他のアプリケーションではスクロール機能が働きます。他の機能が働くようにカスタマイズすることもできます。

詳細はドライバマニュアル 21 ページから 24 ページをご覧ください。ドライバマニュアルの開き方については、34 ページをご覧ください。



操作	操作方法
通常操作	通常操作指を上下に滑らせます。拡大／縮小操作を交互に行ったり、上下にスクロールできます。
連続操作	連続操作トラックパッドの端を指で押し続けます。操作がずっと続きます。
1 回みの操作	トラックパッドの端を指で押して放します。1 回の操作につき 1 度だけ操作を行うことができます。例えば、1 回押して放すと、ズーム操作が 1 回行われます。

# 1. ディスプレイのトラブル

## 画面が液晶パネルからはみ出したり文字がにじんだら

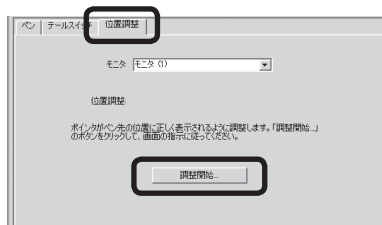
### お知らせ

●この設定はコンピュータと本機をアナログ RGB 接続した場合に有効です。

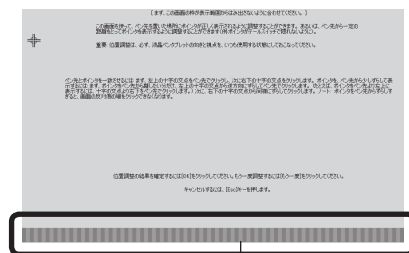
コンピュータやグラフィックボードの機種によっては、オートアジャスト機能が十分に働かず、画面が液晶パネルからはみだしたりにじんだりすることがあります。その場合、周波数とトラッキングを調整してください。解像度が 1280 × 800 ドットるとき、もっとも調整の効果がありません。

- ① タブレットのコントロールパネルを開き、「位置調整」タブを選択します。

詳細は、ドライバマニュアル 7 ページをご覧ください。ドライバマニュアルの開き方については、34 ページをご覧ください。



- ② 「調整開始 ...」をクリックします。画面調整用ストライブが表示されます。



- ③ 「メニュー」ボタンを押して、メインメニューのメインコントロール (いちばん左側) を選択して、「選択」ボタンを押します。
- ④ 「画像」を選択して、「選択」ボタンを押します。
- ⑤ 「周波数」を選択して、「選択」ボタンを押します。
- ⑥ 画面調整用のストライブが左右均一に表示されるように「周波数」を調整します。
- ⑦ 「決定」ボタンを押して、設定内容を決定します。
- ⑧ 「トラッキング」を選択して、「選択」ボタンを押します。
- ⑨ 画面調整用ストライブがもっともくっきり表示されるように「トラッキング」を調整します。
- ⑩ 「決定」ボタンを押して、設定内容を決定します。
- ⑪ 「メニュー」ボタンを押して、メニュー画面を終了します。

## こんなメッセージが表示されたら

メッセージ	処 置
<b>① INFORMATION</b> OUT OF RANGE	本機を接続する前にお使いになっていたモニタがあれば接続し、周波数を水平 31 ~ 82kHz、垂直 56 ~ 75Hz に合わせてください。そして、本機を接続してください。解像度も確認してください。
<b>① INFORMATION</b> NO SIGNAL GO TO POWER SAVE	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DVI-I ディスプレイケーブルの接続を確認してください。(▶ P.12 ~ 13)</li> <li>● DVI-I ディスプレイケーブルのコネクタのピンが折れたり曲がったりしていないか確認してください。(▶ P.12 ~ 13)</li> <li>● コンピュータが省電力状態になっていたら、マウスを動かしたり、キーボードのキーをどれか押してください。</li> <li>● コンピュータのグラフィックボードが正しく装着されているか確認してください。</li> </ul>
<b>① INFORMATION</b> CABLE DISCONNECT GO TO POWER SAVE	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DVI-I ディスプレイケーブルの接続を確認してください。(▶ P.12 ~ 13)</li> <li>● DVI-I ディスプレイケーブルのコネクタのピンが折れたり曲がったりしていないか確認してください。(▶ P.12 ~ 13)</li> </ul>

## こんな症状があらわれたら

症 状	処 置
電源表示ランプがオレンジ色に点灯していたり、オレンジ色と青色に点滅している。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DVI-I ディスプレイケーブルの接続を確認してください。(▶ P.12 ~ 13)</li> <li>● DVI-I ディスプレイケーブルのコネクタのピンが折れたり曲がったりしていないか確認してください。(▶ P.12 ~ 13)</li> <li>● コンピュータが省電力状態になっていたら、マウスを動かしたり、キーボードのキーをどれか押してください。</li> <li>● コンピュータのグラフィックボードが正しく装着されているか確認してください。</li> </ul>
電源表示ランプが点灯せず、画像が表示されない。	● 電源ケーブルの接続を確認し、電源スイッチをオンにしてください。(▶ P.12 ~ 13)
電源スイッチを押しても画像が表示されない。	
画面が乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 周波数とトラッキングを調整してください。(▶ P.17 ~ 19)</li> <li>● コンピュータのグラフィックカードなどのディスプレイアダプタが、本機に対応していることを確認してください。(▶ P.36 ~ 37)</li> </ul>
画面がゆれる。	● 入力信号のグラフィックモードと周波数が、本機の対応範囲であることを確認してください。ただし、グラフィックカードの同期パルス幅が本機に合わない場合は、きれいに表示できないことがあります。(▶ P.36 ~ 37)
画面がちらつく。	● コンピュータのリフレッシュレート(垂直周波数)を、最適な画面になるように設定してください。
画面が鮮明に表示されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コントラストや輝度を調整してください。(▶ P.17 ~ 19)</li> <li>● 周波数とトラッキングを調整してください。(▶ P.17 ~ 19)</li> <li>● コンピュータの表示解像度を WXGA (1280 × 800) に設定してください。本機で使用可能な最大の解像度です。</li> </ul>
画面が二重、三重になる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● DVI-I ディスプレイケーブルを延長したり、インプットセレクタを使用したりしないでください。</li> <li>● DVI-I ディスプレイケーブルをコネクタにしっかり接続してください。(▶ P.12 ~ 13)</li> </ul>
画面の表示位置がずれている。	● 周波数とトラッキングを調整してください。(▶ P.17 ~ 19)
画像の大きさが正しくない。	
画面が暗い。	● 輝度を調整してください。(▶ P.17 ~ 19)

困ったときは

症 状	処 置
画面に波や縦縞が出る。	● 周波数とトラッキングを調整してください。(▶ P.17 ~ 19)
画面の色にむらがある。	
白色が白く表示されない。	● 色温度を調整してください。(▶ P.17 ~ 19)
コンピュータが省電力状態にならない。	● 電子ペンを使用しないときには、本機の画面上に電子ペンを置いたままにしないでください。置いたままにすると本機はデータを送り続け、コンピュータは作動状態であり続けます。
マウスまたはトラックボールの使用中に、ポインタが急に引き戻される。	● 電子ペンを使用していないときは、本機の画面上ではなく、本機のペンホルダーに収納するか、専用のペンスタンドに立てるか、あるいは本機から下ろして本機の近くに置いてください。 ● 電子ペンを画面上に置いたままにすると、他の入力デバイスを使用するとき、ポインタの位置決めができなくなることがあります。
アプリケーションソフトによって、ファンクションキーやトラックパッドがコントロールパネルの設定と異なる動作をする。	● アプリケーションソフトによっては、ファンクションキーやトラックパッドの設定が無効になったり、制限されることがあります。詳細については、ドライバマニュアルの「タブレットコントロールができる処理が組み込まれたソフトウェアを使う」をご覧ください。 特定のアプリケーションソフトに対する設定を使用している場合は、目的のアプリケーションソフトに対して設定を行ったかどうか確認してください。

## 2. その他のトラブル

### ペン、サイドスイッチが正しく動かない (Windows・Macintosh 共通)

症 状	処 置
ペン先が少し触れただけでもクリックしてしまう。	● ペンの故障が考えられます。カスタマーサポートセンターにご連絡ください。
かなり力を入れないとクリックできない。	● コントロールパネルでペン先の感触をより「柔らかい」設定にしてください。(▶ドライバマニュアル 9 ページをご覧ください。ドライバマニュアルの開き方については、34 ページをご覧ください。)
ペン先が触れる前にクリックしてしまう。	● コントロールパネルでペン先の感触をより「硬い」設定にしてください。(▶ドライバマニュアル 9 ページをご覧ください。ドライバマニュアルの開き方については、34 ページをご覧ください。) ● ペン先を操作面に近づけただけでステータスランプが青色に変わるときは、ペンまたはタブレットの故障が考えられます。
ペン先やサイドスイッチが利かない。	● ペン先やサイドスイッチを押したとき、ステータスランプが青色に変わることを確認してください。変わらなければ、ペンまたはタブレットの故障が考えられます。(▶ P.10)
サイドスイッチが利かない。	● コントロールパネルでサイドスイッチが「無効」になっていないか確認してください。(▶ドライバマニュアル 12 ページをご覧ください。ドライバマニュアルの開き方については、34 ページをご覧ください。)
ペン先でダブルクリックができない。	● できるだけ同じ場所を速くクリックしてください。 ● サイドスイッチやセカンドサイドスイッチを 1 回押してダブルクリックするように設定することもできます。(セカンドサイドスイッチには初期設定でダブルクリック機能が割り当てられています。) ● コントロールパネルで、ダブルクリック距離を大きくしたり、ペン先の感触を柔らかく設定してください。(▶ドライバマニュアル 9 ページをご覧ください。ドライバマニュアルの開き方については、34 ページをご覧ください。) ● 通常のマウスのコントロールパネルで、ダブルクリックのスピードが速すぎないか確認してください。

困ったときは



症 状	処 置
筆圧機能機能が使えない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ご使用のアプリケーションが筆圧機能に対応しているかどうか、ソフトウェアの説明書や発売元にご確認ください。ソフトウェアによっては、筆圧機能を有効にするための設定が必要な場合があります。(筆圧対応のアプリケーションについてはワコムホームページでご確認ください。http://tablet.wacom.co.jp)</li> <li>● タブレットドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。タブレットドライバを再インストールしてみてください。(▶ P.14 ~ 15)</li> </ul>
ポインタを思い通りの場所に動かせない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 本機の電源をオフにして、再度電源を入れてください。(▶ P.10) 回復する場合があります。回復しない場合はカスタマーサポートセンターにご連絡ください。</li> </ul>
線を描こうとするとポインタの位置と描画位置がずれてしまう、または全く描画されない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ペンの位置調整タブから「調整開始 ...」ボタンをクリックしてペン先とポインタの位置を合わせてください。それでも合わない場合は、OS に応じて以下の操作を行なってください。その後上記のように位置を合わせてください。(▶ ドライバマニュアル 7 ページをご覧ください。ドライバマニュアルの開き方については、34 ページをご覧ください。)</li> <li>● Windows : スタートメニュー→プログラム→ワコムタブレット→タブレット設定ファイルユーティリティを開き、このユーザーまたは全てのユーザーの設定ファイルを削除してください。(全てのユーザーの設定ファイルを削除する場合は、管理者権限が必要です。)</li> <li>● Macintosh : アプリケーションフォルダの Tablet フォルダにある、「ワコムタブレットの削除」を起動します。「全てのプレファレンスファイルを削除」のボタンをクリックしてプレファレンスファイル(設定ファイル)を削除してください。</li> </ul>

## 一般的なトラブル

症 状	処 置
コンピュータを買い替えたり、新しいソフトウェアを使ったらタブレットが使えなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最新版のタブレットドライバをインストールすると、解決することがあります。最新版のタブレットドライバはホームページからダウンロードできます。 ▶ http://tablet.wacom.co.jp/</li> </ul>
USB ハブにタブレットを接続しているが、動作しない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● USB ハブの機種によってはタブレットが認識できない場合があります。コンピュータ本体の USB ポートに直接接続してください。(▶ P.12 ~ 13)</li> </ul>

## Windows でのトラブル

症 状	処 置
USB ポートに接続してもペンでまったく操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● USB コネクタの接続を確認してください。USB ハブに接続してお使いの場合は、コンピュータ本体の USB ポートに直接接続してみてください。(▶ P.12 ~ 13)</li> <li>● デバイスマネージャの、「不明なデバイス」の中に本機の型番がある場合は、このリストから選択し削除ボタンをクリックして、すべての設定から削除してください。次に、更新ボタンをクリックしてください。「新しいハードウェアの追加ウィザード」ダイアログが出てきたら、それに従って、タブレットドライバを再インストールしてください。(▶ P.14)</li> <li>● USB ポートが有効になっている場合は、「コントロールパネル」フォルダの「システム」を開き「ハードウェア」→「デバイスマネージャ」の順に開いて、表示されるリストの中に「USB(Universal Serial Bus) コントローラ」があることを確認してください。もしなければ、お使いのコンピュータを調整する必要があります。コンピュータメーカーにご相談ください。</li> </ul>
通常のマウスのコントロールパネルで左利き用に設定したら、ペン先でクリックできなくなった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● Windows を再起動してください。</li> </ul>

困ったときは

## Macintosh でのトラブル

症 状	処 置
タブレットの設定ファイルが壊れている。または、設定ファイルを標準設定の状態に戻したい。	<p>起動中のアプリケーションソフトをすべて閉じ、「アプリケーション」フォルダを開きます。次に、「ワコムタブレット」フォルダを開き、「ワコムタブレットユーティリティ」を実行します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>最初にタブレット設定のバックアップコピーを取ることをお勧めします。「ワコムタブレットユーティリティ」では、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」を選択します。次に、「バックアップ...」をクリックし、メッセージに従って操作します。</li> <li>以下の手順でタブレット設定を削除します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>シングルユーザの場合：ユーティリティが起動したら「ログインユーザー」を選択し、「削除」をクリックします。続いてログアウトし、再度ログインします。タブレットドライバがロードされると、インストール直後の標準設定で新しい設定ファイルが作成されます。</li> <li>マルチユーザの場合：ユーティリティが起動したら「全てのユーザー」を選択し、「削除」をクリックします。続いてログアウトし、再度ログインします。タブレットドライバがロードされると、インストール直後の標準設定で新しい設定ファイルが作成されます。</li> </ul> </li> </ul> <p>ユーティリティ内の「復元...」をクリックして、「ログインユーザー」または「全てのユーザー」に対してバックアップしたタブレット設定を復元できます。</p> <p>補足：「Wacom Tablet.Prefpane」ファイルを「ライブラリ」の「Preferencepanes」フォルダから削除しないでください。このファイルは、タブレットドライバをアンインストールする場合、また「ワコムタブレットユーティリティ」を使用する場合にのみ削除します。再度、ポインタの位置調整をします。</p>
Ink が、本機で正しく動作しない。	<p>Ink の設定ファイルに問題がある可能性があります。以下の手順で、問題のある設定ファイルを削除します。手書き入力認識を有効にすると、設定ファイルが再度作成されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>「システム環境設定」画面を開き、「すべてを表示」を選んで「Ink」を選択します。次に、「手書き認識」を無効にします。</li> <li>「移動」メニューから、「ホーム」を選択します。「ライブラリ」を開いて、「Preferences」フォルダを開きます。以下の設定ファイルを削除します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>com.apple.ink.framework.plist</li> <li>com.apple.ink.inkpad.plist</li> <li>com.apple.ink.inkpad.sketch</li> </ul> </li> <li>再度、「システム環境設定」→「Ink」を選択します。「手書き認識」を「入」にします。</li> <li>本機と電子ペンを使って、Ink 機能をテストします。</li> </ol> <p>この処理で Ink の問題が解決されず、サポートが必要な場合は、アップルコンピュータに連絡してください。Ink 用のアプリケーションソフトに関して、弊社では一切のサポートを行っておりません。</p>
USB ポートに接続してもペンでまったく操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● USB コネクタの接続を確認してください。コンピュータ本体の USB ポートに直接接続してください。(▶ P.12 ~ 13)</li> <li>● USB カードを装着している場合、システムソフトウェアが正しくインストールされていないことが考えられます。</li> <li>● 本機以外のフルスピード、ハイパワーの USB 周辺機器があれば接続して、コンピュータ本体の USB ポートが正しく動作するかどうか確かめてみてください。動作する場合はタブレットの故障が考えられます。</li> </ul>
マウスモードにしかならない。筆圧も使えない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● タブレットドライバが正しくインストールされていないことが考えられます。タブレットドライバを再インストールしてください。(▶ P.15)</li> </ul>

# 1. 汚れを落とす

本機のケース部分やペンが汚れたら、清潔な柔らかい布で拭いてください。

汚れが落ちない場合は、中性洗剤を薄めたものを清潔な柔らかい布にふくませ、固く絞ってから拭いてください。

液晶表示部の保護板が汚れたら、乾いた柔らかい布でふいてください。汚れが落ちにくいときは水でかすかに湿らせてください。

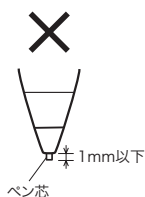
## お知らせ

- アルコールなどの有機溶剤を使わないでください。表面が変色することがあります。

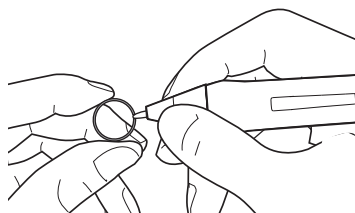


# 2. ペン芯の交換

ペン芯が磨耗したとき(1mm以下)は、図のようにペン芯を交換してください。ペン先が磨耗して角張りますと、液晶表示部の保護板表面を傷つけやすくなります。

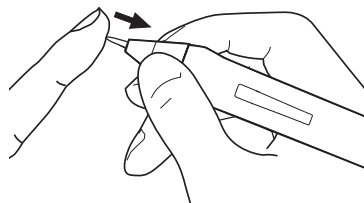


ペン芯を抜く



芯抜きで、芯を引き抜いてください。

新しい芯を差し込む



止まるまでしっかりと新しい芯を差し込んでください。

## お知らせ

- お子さまが、電子ペンや芯を口の中に入れてはいけないようにご注意ください。芯が抜けて飲み込む恐れがあります。電子ペンを口の中に入れると、故障の原因になります。
- ペン芯は力を入れすぎると、早く摩耗します。最大筆圧は400gです。それ以上力を入れて使うと芯の寿命が短くなり、故障の原因になります。



# 3. ドライバマニュアルの開き方

本機のタブレットドライバをインストールすると、ドライバマニュアル(電子マニュアル)を見ることができます。ドライバマニュアルではコントロールパネルの設定を詳細に説明しています。

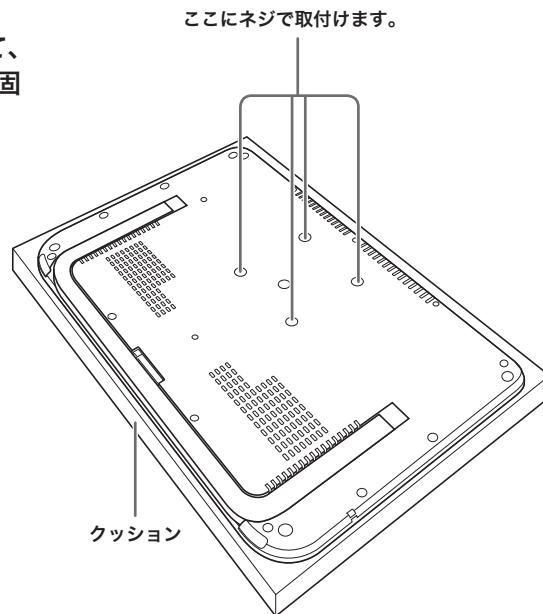
ドライバマニュアルを開くには、Windowsでは、「すべてのプログラム」→「ワコムタブレット」→「マニュアル」を選択します。

Macintoshでは、「Finder」の「移動」メニュー→「アプリケーション」→「タブレット」→「User's Manual-JP.pdf」を選択します。

## 4. マウントアームなどに取り付ける

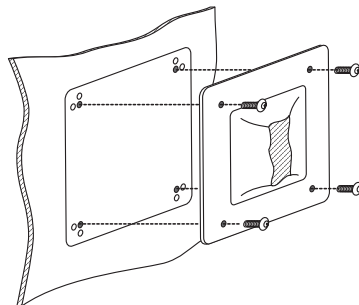
本機は VESA (Video Electronics Standard Association) の FPMPMI (Flat Panel Monitor Physical Mounting Interface Standard) 規格に準拠しています。本機のネジ穴の間隔は、上下左右 75mm です。VESA 規格のマウントアームなどに取り付けることができます。このとき、M4/0.7mm ピッチのネジが別途必要です。ネジの長さが、取り付け時の本機の表面から深さ 6mm 以内になるものを使用してください。深さが 6mm を越えますと、内部の部品を傷つけ故障の原因になります。

- 1 コンピュータと本機の電源を OFF にして、すべてのケーブルをはずします。
- 2 本機を平らな台の上につぶせに置きます。このとき、正面に傷が付かないように布などを敷いてから置いてください。
- 3 M4/0.7mm ピッチのネジを使って、本機の裏面にアームなどをしっかり固定します。



### ⚠ 注意

マウントアームやほかのスタンドなどに取り付ける場合は、それぞれの説明書の指示に従ってください。誤った取り付け方をされますと、はずれて落ちることがあり、故障の原因になります。



## 5. 仕様

---

### 総合仕様

外形寸法 (W × D × H)	405.2 × 269.7 × 17mm (突起部含まず)
質量	1.8kg (突起部含まず)
入力電圧	DC12V
消費電力 (AC アダプタ付)	29 W (最大) 2 W 以下、スリープモード 1 W 以下、オフモード
省電力機能	VESA DPMS
対応 OS	Windows の場合 : Windows 7、Vista、XP (32/64 ビット) Macintosh の場合 : Macintosh OS X、v10.4 以降
保護パネル	エッチング加工強化ガラス
統合ケーブル	DVI-I、USB、DC 電源
使用温度および湿度	5° ~ 35° C、湿度 : 20% ~ 80% (結露がないこと)
保管温度および湿度	-10° ~ 60° C、湿度 : 20% ~ 90% (結露がないこと) (温度 60° C では最大保管湿度は 38%、湿度 90% では最大保管温度は 42° C)
適合規格	RoHS、J-Moss グリーンマーク、電気用品安全法、VCCI ClassB

---

### ディスプレイ

駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリクス液晶
表示サイズ	12.1 型 (261.1 × 163.2mm)
縦横比	16 : 10
入力端子	DVI-I 29 ピン × 1
ピクセル数	1280 × 800
入力信号	DVI 1.0 準拠 (デジタル) アナログ RGB (アナログ)
解像度 (単位 : ピクセル)	1280 × 800、1024 × 768、800 × 600、640 × 480
画素ピッチ	0.204 (W) × 0.204 (H) mm
視野角 (標準値)	水平 170° / 垂直 170°
表示色	1677 万色
コントラスト比 (標準値)	600 : 1
応答速度 (標準値)	25 ms
輝度 (明るさ) (標準値)	180 cd/m <sup>2</sup> 、
プラグ&プレイ	DDC 2B、DDC/CI
液晶の品質	液晶パネルは非常に高い精密度の技術で作られていますが、まれに画素欠けや常時点灯の画素がある場合があります。故障ではありません。 静止画を長時間表示したあとに残像が生じることがありますが、時間がたつと徐々に元に戻ります。

---

## タブレット

読取方式	電磁誘導方式
読取可能範囲	261.1 × 163.2mm
読取分解能	最高 0.005mm
読取精度	± 0.5 mm  ただし、操作面の周辺部は、 ・幅 20 mm の範囲は± 2.0 mm ・幅 3 mm の範囲は± 4.0 mm
最大ペン傾斜角度	垂直から 40° (コーナー部を除く)
ペン傾斜レベル	± 60 レベル
読取可能高さ	5 mm
データ転送速度	最大 136 ポイント / 秒
インタフェース	USB
筆圧レベル	1024 レベル

## コンバータボックス

外形寸法 (W × D × H)	148.0 × 112.0 × 27.6mm
質量	0.3kg
ビデオ入力	DVI または VGA (DVI は、DDC/CI、DDC-2B)
タブレットインターフェース	USB
出力	ビデオと USB インターフェース (専用コネクタ)
入力電圧	12VDC

---

## 電子ペン仕様 (ZP-501E)

ペン先の動作ストローク	約 0.2mm 以下
筆圧レベル	1024 レベル
消しゴムの動作ストローク	約 1.5mm
外形寸法 (L × D)	174.8 × 14.8mm
質量	約 17g
芯	標準芯 (3本) ストローク芯 (1本) フェルト芯 (1本)

このページをコピーしてご利用ください（「お問い合わせ」または「修理依頼」に○をつけてください）。太枠内を記入してください。

○ お問い合わせ

FAX 送付先：03-5309-1514

○ 修理依頼

受付 No. \_\_\_\_\_

発信	年	月	日
----	---	---	---

お客様	フリガナ		会社名	
	氏名		(学校名) ・所属部署	
	使用場所	会社(学校)・自宅	連絡先	会社(学校)・自宅
	住所	〒 _____ ※修理のご依頼の場合は、修理完了品の返送先をご記入ください。 E-mail : _____		
	TEL	( )	FAX	( )

タブレット	型式	Cintiq 12WX	シリアル番号		
	タブレットドライバ	バージョン： _____			
	購入年月日	年	月	日	
使用環境	使用 コンピューター	メーカー： _____	機種名： _____		
		モデム内蔵 Yes・No	使用 OS	(バージョン： _____)	
	使用アプリケーション	(バージョン： _____)			
	周辺機器など	種類	メーカー	機種名	接続ポート
		他の USB 機器			
		USB ハブ			
		ディスプレイ			
ビデオカード					
その他					
内容	現象発生日	年	月	日	
	現象発生頻度	常時・ときどき(システム起動時・使用中・その他： _____)			
	_____				

ここに記入されたお客様の個人情報は、お客様へのサポート、及び修理品の返却のみに利用し、それ以外に利用することはありません。

# アフターサービスのご案内

## ●ワコムのインターネットホームページ <http://tablet.wacom.co.jp/>

各種製品情報、最新版タブレットドライバのダウンロード、よくお寄せいただくご質問とその回答、キャンペーン情報などを掲載したワコムのホームページです。

## ●ワコムクラブ / ワコムストアのご案内


### WACOM CLUB について

WACOM CLUB はワコムペンタブレットユーザー様限定の会員サービスです。詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

### <http://tablet.wacom.co.jp/wacomclub/>

会員になると、弊社からの最新情報をお届けする他、オンラインショッピングサイト「ワコムストア」で付属品、オプション品、グラフィックソフトなどをご購入いただけます。

## ●サポート窓口のご案内

<b>インターネット FAQ</b> <a href="http://tablet.wacom.co.jp/support/">http://tablet.wacom.co.jp/support/</a>	皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてワコムのホームページに掲載しております。ぜひ、ご活用ください。ワコムのホームページから「サポート」→「よくあるご質問と回答」を選択してください。アクセスできます。 インターネットFAQより解決策が得られない場合、ホームページ上のサポートセンターへのお問い合わせフォームをご利用ください。
<b>FAX によるサポート</b> <b>FAX:03-5309-1514</b>	製品に関するご質問、ご相談にFAXでお答えします。 お問い合わせ用紙*1に正確にご記入の上、お送りください。FAX*2にて折り返しご連絡します。
<b>電話によるサポート</b>  <b>0570-05-6000</b>	製品に関するご質問、ご相談に電話でお答えします。 受付時間：平日 9時～20時 土曜日 10時～17時 (日曜、祝日、および年末年始など弊社指定休日を除く) お問い合わせ用紙*1の各項目をご確認のうえ、お電話をいただきますと、状況を把握しやすくなり、より早く問題解決のお手伝いができます。 ナビダイヤルについて ナビダイヤルは、NTTコミュニケーションズ(株)のサービスです。ダイヤルQ2などの有料サービスではありません。この番号におかけいただいた場合は、電話の接続前に通話料金の概算をお知らせするメッセージが流れ、電話料金がいくらかかるか事前に知ることができます。 PHS及びIP電話からはご利用いただけません。また、NTT以外の電話会社の場合、この番号をご使用いただけない場合があります。以下の電話番号をご利用ください。 TEL:03-5309-1510

## ●修理依頼先のご案内

上記のサポート窓口からサポートセンターへお問い合わせください。サポートセンターで製品が故障かどうかを確認させていただきます。故障の場合は、製品の送付先をご案内いたします。

\*1 本書およびドライバマニュアルの巻末にあります。

\*2 電子メールやFAXによるお問い合わせに対しては、弊社営業時間内に回答をさしあげます。内容により数日かかることがあります。